

「農業機械を巡る現状・課題と今後の方向(中間整理)」のポイント

現状・課題

- ・ 国際化が進展する中で、さらなる低コスト化、高付加価値化等に資する革新的技術の開発が急務。
- ・ 食の安全、環境負荷低減などの新たな社会的ニーズ対応した機械開発の強化が必要。

革新的農業機械の開発が必要

- ・ 食料供給コストの縮減に向けて、農業機械についても供給面、利用面からの総合的な取り組みが必要。

農業機械費のさらなる低減が必要

- ・ 高齢化が進展する中、農業就業人口当たりの農作業死亡事故件数は増加傾向。

安全対策の強化が必要

- ・ 安全性や環境性に優れた機械の開発・普及を促進することが必要。

型式検査の新たなニーズへの対応が必要

- ・ 地球温暖化対策や環境保全型農業の加速化等環境負荷の低減に向けた対応の強化が必要。

環境負荷の低減に向けた対応が必要

今後の方向

1 IT・ロボット技術等の先端技術を活用した革新的機械の開発

- 更なる省力・低コスト化、規模拡大、高品質化などの推進に向けた、IT・ロボット技術等の先端技術の活用等を通じた革新的な機械開発の推進。
(IT・ロボット技術等先端技術の農業利用の将来像を具体的に提示)
- 食の安全や環境負荷の低減などに資する機械開発の推進。
- 産地・農業者との連携強化などに向けた開発プロセスの見直し。

2 農業機械費の低減

- 知財に留意した国内メーカーの海外展開等を通じたものづくり基盤の維持・強化。
- 機能を絞った低価格農機のPR活動等を通じた生産者の選択肢の拡大。
- 担い手の規模拡大や農業機械費の低減の支援に向けた基本方針の検討。

3 農作業安全対策の強化 ～農業機械の事故の減少を目指して～

- キャブ・フレーム付きトラクタなど安全な農業機械の流通確保のための取組強化。
- 高齢者、新規就農者、被雇用者等に対する指導・啓発の強化。
- 農業機械に関する事故情報の収集・分析、情報提供の仕組みづくり。

4 型式検査の新たなニーズへの対応

- 農業機械の安全性能、環境性能の確保の観点からの型式検査等の見直し・強化。

5 環境負荷の低減に向けた対策の強化

- 農薬、肥料、燃料等の低減に資する機械開発と普及促進に向けた検査、情報提供。
- 省エネ利用マニュアルや農業機械のBDF利用の普及啓発の促進。